

サステナビリティ経営の取組み

当行では、サステナビリティの視点を銀行経営に積極的に採り入れ、「武蔵野銀行SDGs宣言」や「サステナビリティ基本方針」のもとステークホルダーの皆さまと手を携えながら、持続可能な地域社会の実現に向け取り組んでいます。

武蔵野銀行SDGs宣言

SDGsの目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取り組むことを宣言します。

「持続的成長の源泉としての企業統治」

企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。



「持続可能な地域経済」

地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。



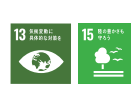
「いつまでも自分らしく暮らせる地域社会」

全ての人が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取組みを行います。



「気候変動への対応と生物多様性の維持向上」

地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取り組めます。



サステナビリティ基本方針等

気候変動や人権といったグローバルな課題や国内外の金融経済における脱炭素の動きに対応するとともに、より実効性のあるサステナビリティ経営の実践を目指していきます。

サステナビリティ基本方針

環境方針

投融資方針

人権方針

気候変動への対応

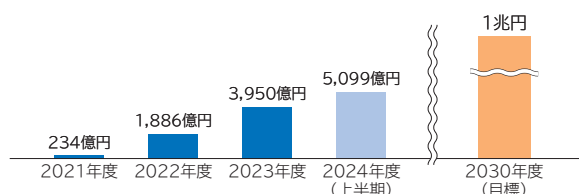
TCFD提言への取組み



気候変動への取組みを重要な経営課題と位置づけ、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言を踏まえたガバナンスおよびリスク管理体制の構築や気候変動がもたらす機会とリスクの把握に努めています。また、サステナブルファイナンスおよび温室効果ガス排出量削減に関する目標を定め開示しています。

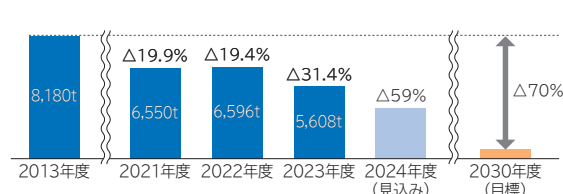
サステナブルファイナンス

地域の脱炭素化等に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。



温室効果ガス排出量削減

当行グループ全体のCO₂排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指しています。



事業者の皆さまのサステナビリティ経営を支援

事業者の皆さまのESG及び脱炭素への取組み支援を目的とした対話ツール「ESG評価シート」を導入しているほか、1社1社の取組みの見える化から、環境へのインパクト評価まで行えるさまざまなファイナンスやコンサルティング商品のラインナップを揃えています。

取組み状況

取組みの見える化

取組みの高度化

目標の設定

インパクト評価

商品

・SDGs診断サポート

・SDGsフレンズローン
・優良企業サステナブルファンド

・SDGsコンサルティング
・脱炭素コンサルティング

・サステナビリティ・リンク・ローン
・サステナビリティ・フレームワーク・ローン

事業者の皆さまの脱炭素化を支援

2024年10月より、CO₂排出量測定サービス「C-checker」の取扱いを開始しました。電気・ガソリン等の使用量を入力するだけで、会社全体や事業所ごとのCO₂排出量が可視化され、各年度の排出量比較や排出源分析が簡単にできます。



当行ホームページから無料でご利用いただけます

C-checkerの特長

CO₂排出量の可視化と分析

事業所ごとのCO₂排出量、排出源の分析が可能

初期費用、ランニング費用ともに無料

